



生理用品を学校トイレに 置くことを求めました

トイレットペーパーと同様に、生理用品をトイレに設置する学校が全国的に広がっています。一方、長野県ではほとんどの学校が必要な場合に保健室等で受け取る方式（トイレに設置の高校は7校のみ）。保健室で手渡すことで児童・生徒の困窮や健康状態を把握できることなどがその理由です。本会議の毛利栄子県議の質問に続き、文教委員会で取り上げました。

山口 トイレにあれば周囲の目を気にしなくても良いし、保健室に行くことはちゅうちょする子どももいる。

他県の事例で、「困っていることがあれば、先生に相談に来てください。一緒に考えましょう」とメッセージをつけてトイレに設置したところ、かえって健康状態の相談が増えたという。子どもの心身への配慮を重んじて、設置を広げてほしい。

答弁 保健室には着替えなどの用意もある。

山口 トイレでも保健室でも、いつでも大丈夫だよということが大事ではないか。

子どもたちに直接関わる重要な問題であり、アンケートや意見を表明する場を設けてほしい。

答弁 学校によって事情が異なり、まずは養護教諭を通じて子どもたちから意見を聞きたい。

山口 女性の尊厳に関わる問題でもある。

答弁 時代の変化の中で、これまでと違う対応を検討することも必要と思っている。現状と子どもたちの思いなど、ぜひ対応していきたい。

路線バスの廃止・縮小問題の 対応をたどりました

長野市などで路線バス5路線が廃止される問題は、関係する高校の学校生活にも影響を及ぼしています。

山口 学校生活への影響と、県教委の対応についてうかがう。

答弁 長野西高中条校では、休憩時間の工夫で帰りの減便に合わせた対応をしている。通学の利用は、長野西高中条校、篠ノ井高犀峽校、吉田高戸隠分校で97名、路線沿いから長野市中心部や千曲市、須坂市に78名である。

山口 代替運行では、不便になることを指摘する声もある。調査と対策が必要だ。

答弁 交通政策局と情報交換し細かい対応をしていく。

長野県社会保険推進協議会の県への要望に同席。マイナ保険証を持たない人も安心して受診できるよう、資格確認証の発行などを求めました。（6月3日）



教師の体罰をなくすために

県内の小学校で教師が子どもをたたいたり、人格を否定する暴言を浴びせていたことが発覚しました。自分も教師から厳しい言葉を受けたことがあります。一度受けた心の傷は一生治らないこともあります。

山口 この間、体罰が繰り返されている。今回の件について、教育長は組織的な体制について語っているが何が問題だったのか。

答弁 担任が言うことを聞いてくれない子どもさんたちを指導していた。この教師は、以前から言葉の使い方などを指摘されていた。指導がうまくいかず思いつめていたようだが、他の教師の協力や上司の指導があったら防げたと考える。

山口 今回の教訓をぜひ生かしてほしい。

中央新幹線工事の要対策土について

J R東海がリニア中央新幹線トンネル工事で発生した要対策土（基準値を上回るヒ素等をふくむ）を、飯田市の橋脚工事に利用することに関して、県環境影響評価技術委員会（以下「委員会」）でも議論されました。

山口 「委員会」では、水質検査の不備、土石流災害の可能性、有害物質が漏出した場合の対策が不十分であることなど専門家から指摘された。これを受けて県は「助言」をJ Rに送ったが、今後も監視や検証が必要だ。

答弁 J R東海からは、毎年報告書を提出してもらう。それを委員会で審議し必要な助言も行う。対応が不十分なら、追加の措置を求めることは可能である。

川の汚染対策

ある地域の方から、近くの川で藻が生え茂り魚もいなくなったと相談がありました。キノコの廃培地処理場の影響と思われる県や市に水質検査をしてもらった結果、基準値の範囲内でしたが、心配されています。

山口 このような場合、どのような対応が可能かうかがう。

答弁 これまでも、排水が基準をクリアしても漏れ出していたり飛散する事例もある。窒素やリン等が出ている可能性もあり、必要場合は処理場内や、周辺の水の状況など検証した上で必要な措置を講じたい。

